市立 小諸高原美術館・ 白 鳥 映 雪 館 ~和の絵画に包まれて~

~和の絵画に包まれて~ GEORGE GAO

**JAPONISM CHAMBER Concert Tour 2023** 



白鳥映雪館を会胡 場を子・GEORGE GAO (高部青) コレ カート 白 画の 日本 の 日本 の 日本 の の の に 氏 音 の が ト ら 点 の の に 氏 音 を いま で さいませ。 能くださいませ。

▶日 程 11/25 出 13:30 開演 15:00 終了

▶会 場 白鳥映雪館

▶演奏者

二 胡:GEORGE GAO (高韶青)、今井美樹

ギター:稗田隼人 チェロ:蒼井大地

▶料 金 大人 3,500 円、当日券 4,000 円、

小中学生 2,000 円 (入館料込み) 未就学児不可

美術館にミニマルシェも出店します。

▶チケットに関する問合せ

ココプロジェ

**☎** 080-4081-4831 ⋈ yukom@cocoprojet.jp

▶コンサートに関する問合せ

市立小諸高原美術館・白鳥映雪館 ☎ 26-2070

## 昆虫写真家

## 海野和男の小諸日記

越年蝶

小諸で今の季節最も多く見られる蝶はモンキチョウだろう。どこででも見られる蝶で、遅くまで咲いているキク科の花などで、蜜を吸っていたり、オスとメスが2匹で仲良く飛んでいる姿を見ることができる。

モンキチョウは越年蝶(オツネンチョウ)と呼ばれていた。秋遅くまで見られ、春も一番早く出てくる蝶なので成虫で冬を越すと思われていたのだが、モンキチョウの幼虫は寒さに強く、カラスノエンドウなどのマメ科植物に産み付けられ、秋遅く孵化した幼虫がある程度育った段階で冬を越し、早春に芽生えた食草を食べて、小諸でも3月には見られることがある蝶だ。

話は変わるが、越年というのは年を越すことだが、今は「えつねん」と読む。けれど明治時代の初めまではオツネンと読んでいたという。ぼくは子どもの頃に越年蝶を知ったので、越年はおつねんと読むものと信じていて、笑われたことがある。



ボサギクの葉に来たメス (オスは黄色い)



